

Color Blaze 48/72

カラーブレイズ 48 / 72

ユーザーガイド
取扱説明書

12NC: 910503700613 (Color Blaze 48)
12NC: 910503700614 (Color Blaze 72)

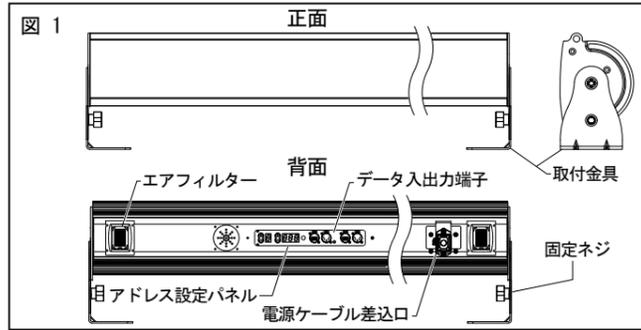
この度は Color Blaze をお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドでは Color Blaze の操作方法および安全な使用方法についての重要事項を説明しています。Color Blaze を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読み下さい。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管して下さい。

箱には以下のものが入っています。

- Color Blaze 1台
- コンセントプラグ付き電源ケーブル (AC100V) 1本
- 3芯-2芯変換アダプター 1個

1. はじめに

◆ 1-1 製品各部の名称



◆ 1-2 設置の手順

- ① コンセントプラグ付き電源ケーブルを本体にセットします。
※ AC200Vでご使用の際は別途ご用意下さい。
- ② 電源を入れます。
- ③ ライトアドレスを設定します。
- ④ コントローラーを接続します。

注意

Color Blaze は、通気のため本体周囲に 8cm 以上の空間を設けて設置してください。

2. 電源の接続

注意

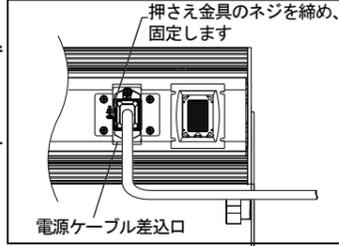
設置および配線は、専門の電気工事業者が行って下さい。

◆ 2-1 コンセントプラグの取り付け

Color Blaze は本体に電源トランスを内蔵したライトです。入力電圧は AC100V から 240V、50-60Hz に自動切替に対応します。電源の接続には、付属のコンセントプラグ付き電源ケーブル (AC100V) を用いてください。AC200Vでご使用の際は別途ご用意ください。

◆ 2-2 電源ケーブルのセット

1. 本体背面の電源ケーブル差込口に、付属の電源ケーブルをセットします。
2. 押さえ金具のネジを締め、ケーブルをしっかりと固定してください。



注意

電源ケーブルのコネクターが、奥までしっかりと差し込まれていること

3. アドレスの設定

重要

アドレス設定を行う前に、電源を入れて下さい。

Color Blaze のライトアドレスには、DMX チャンネルナンバーを使用します。設定は、本体背面のパネルで行います。

◆ 3-1 アドレスの考え方

Color Blaze は、複数の LED 基板 (1 基板あたり 18 個の LED) から構成されており、基板単位でライトアドレスを設定することが可能です。設定は、全ての基板に個別アドレスを割り振る方法と、複数基板ごとにグループ化してアドレスを割り振る方法があります。

アドレスは、左端の基板 (またはグループ) に対する番号を指定すると、そのアドレスを先頭アドレスとして、残りの基板 (またはグループ) にも自動的に連番アドレスが割り振られます。

アドレス設定の際は、事前に以下の点をご検討下さい。

- ・ 1 台に割り当てる、ライトグループ数
- ・ 先頭となるライトグループに対するスタート DMX チャンネルナンバー
- ※ ライトグループあたり、DMX チャンネル 3 つ分 (RGB 各色分) を使用します。

※複数台の Color Blaze を並べて順番に色を流すような演出を行う場合、直前の Color Blaze に割り振ったエンドのアドレスを考慮した上で、次の Color Blaze のスタート DMX チャンネルナンバーを算出する必要があります。

(DMX チャンネルナンバーの算出方法については、◆ 3-2 および < DMX アドレス設定表 > をご参照ください。)

◆ 3-2 ライトグループ数の設定

まず最初に、ライトグループ数を設定をします。ライトグループ数とは、Color Blaze をいくつかのセグメントに分けて光らせるためにグループ化する、基板のグループ数のことです。設定は、“NUMBER OF GROUPS” の + / - ボタンを押して行います。右記をご参照下さい。



ライトグループ数の設定

ColorBlaze 48

1=全ての基板を同一アドレスに設定。(8基板1グループ)

グループ 001							
----------	--	--	--	--	--	--	--

2=2つのグループに分けて、4基板ごとにアドレスを設定。(4基板×2グループ)

グループ1 001				グループ2 004			
-----------	--	--	--	-----------	--	--	--

4=4つのグループに分けて、2基板ごとにアドレスを設定。(2基板×4グループ)

グループ1 001		グループ2 004		グループ3 007		グループ4 010	
-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--

A=全ての基板に個別アドレスを設定。(8基板それぞれに1アドレス設定)

グループ1 001	グループ2 004	グループ3 007	グループ4 010	グループ5 013	グループ6 016	グループ7 019	グループ8 022
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ColorBlaze 72

1=全ての基板を同一アドレスに設定。(12基板1グループ)

グループ 001											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2=2つのグループに分けて、6基板ごとにアドレスを設定。(6基板×2グループ)

グループ1 001						グループ2 004					
-----------	--	--	--	--	--	-----------	--	--	--	--	--

3=3つのグループに分けて、4基板ごとにアドレスを設定。(4基板×3グループ)

グループ1 001				グループ2 004				グループ3 007			
-----------	--	--	--	-----------	--	--	--	-----------	--	--	--

4=4つのグループに分けて、3基板ごとにアドレスを設定。(3基板×4グループ)

グループ1 001			グループ2 004			グループ3 007			グループ4 010		
-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--	-----------	--	--

6=6つのグループに分けて、2基板ごとにアドレスを設定。(2基板×6グループ)

グループ1 001		グループ2 004		グループ3 007		グループ4 010		グループ5 013		グループ6 016	
-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--

A=全ての基板に個別アドレスを設定。(12基板それぞれに1アドレス設定)

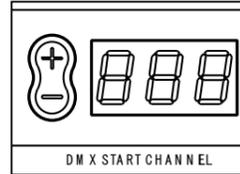
グループ1 001	グループ2 004	グループ3 007	グループ4 010	グループ5 013	グループ6 016	グループ7 019	グループ8 022	グループ9 025	グループ10 028	グループ11 031	グループ12 034
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------

* Color Blaze では1ライトグループあたり3つのDMXチャンネルを使用するため、例えば1つ目のライトグループでは「001」～「003」を使用します。

◆ 3-3 DMX スタートチャンネルの設定

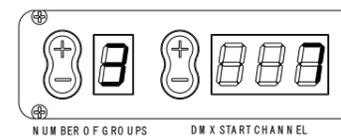
ライトグループ数を決定したら、次に DMX チャンネルを割り振ります。“DMX START CHANNEL” の + / - ボタンを押して、その Color Blaze の1つ目の (左端の) ライトグループに対する DMX チャンネルナンバーを指定します。(単一アドレスを設定する場合は、そのスタートチャンネル番号を指定します。) 1つ目のライトグループに対するスタートチャンネルナンバーを指定すると、残りのライトグループにも自動的に連番のアドレスが割り振られます。

DMX チャンネルナンバーについては、< DMX アドレス設定表 > をご参照ください。



例) ColorBlaze72 で右図の

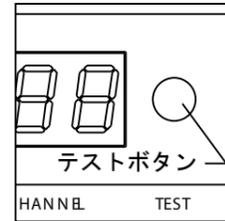
ような設定をした場合:
下記のようにアドレスが割り振られます。



基本グループ	1グループ目	2グループ目	3グループ目
DMX チャンネル	007 ~ 009	010 ~ 012	013 ~ 015

◆ 3-4 点灯チェック

アドレス設定を終えたら、テストボタンを長押ししてライトの点灯確認をしてください。Color Blaze の制御基盤が正常に作動していれば、左端の LED 基板から順番に、ライトが白くフラッシュしていきます。これで、コントローラーを接続するための準備は完了です。



4. データの接続

DMX コントローラーからのデータは、RJ45 または XLR-5 ケーブルを用いて、Color Blaze 背面の DMX IN ポートに直接つなぎます。複数台の Color Blaze にデータを送り配線する場合は、送信側の DMX OUT ポートと受信側の DMX IN ポート間を RJ45 または XLR-5 ケーブルで接続して下さい。(図2参照)

DMX アドレス設定表

DMX #	LIGHT #								
1	1	103	35	205	69	307	103	409	137
4	2	106	36	208	70	310	104	412	138
7	3	109	37	211	71	313	105	415	139
10	4	112	38	214	72	316	106	418	140
13	5	115	39	217	73	319	107	421	141
16	6	118	40	220	74	322	108	424	142
19	7	121	41	223	75	325	109	427	143
22	8	124	42	226	76	328	110	430	144
25	9	127	43	229	77	331	111	433	145
28	10	130	44	232	78	334	112	436	146
31	11	133	45	235	79	337	113	439	147
34	12	136	46	238	80	340	114	442	148
37	13	139	47	241	81	343	115	445	149
40	14	142	48	244	82	346	116	448	150
43	15	145	49	247	83	349	117	451	151
46	16	148	50	250	84	352	118	454	152
49	17	151	51	253	85	355	119	457	153
52	18	154	52	256	86	358	120	460	154
55	19	157	53	259	87	361	121	463	155
58	20	160	54	262	88	364	122	466	156
61	21	163	55	265	89	367	123	469	157
64	22	166	56	268	90	370	124	472	158
67	23	169	57	271	91	373	125	475	159
70	24	172	58	274	92	376	126	478	160
73	25	175	59	277	93	379	127	481	161
76	26	178	60	280	94	382	128	484	162
79	27	181	61	283	95	385	129	487	163
82	28	184	62	286	96	388	130	490	164
85	29	187	63	289	97	391	131	493	165
88	30	190	64	292	98	394	132	496	166
91	31	193	65	295	99	397	133	499	167
94	32	196	66	298	100	400	134	502	168
97	33	199	67	301	101	403	135	505	169
100	34	202	68	304	102	406	136	508	170

図 2

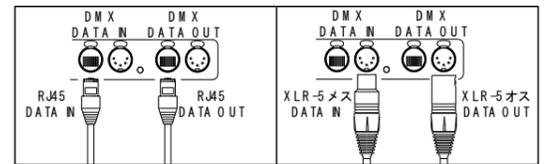
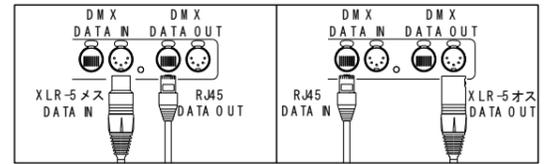


図 3



・ XLR-5 および RJ45 ポートは併用することが可能です。(図3参照)

注意

RJ45 データケーブルを使用する場合は、データの合計配線距離が 100m を超えないようにしてください。

5. 設置について

注意

安全性を十分に確認して、確実に取り付け・設置を行って下さい。

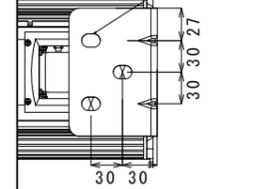
◆ 5-1 灯具の固定

取付金具の底面にある取付用穴を使って、設置面に適切なビスなどで灯具を固定します。安全性を十分に確認して下さい。

◆ 5-2 落下防止ワイヤーの取付について

安全のため、必要に応じて落下防止ワイヤーを取り付けて下さい。落下防止ワイヤーは、耐荷重 270kg 以上、7 芯×7 線のより線のものを使い、ワイヤーは建築物に取り付け固定します。

18×13長穴



落下防止ワイヤー ワイヤー用穴



ワイヤーの固定方法はユーザー様にて安全性を確保してください。

注意

取付金具が本体に確実に固定されていること、落下防止ワイヤーの装着が安全なことを十分確認してください。落下防止ワイヤーのもう一方は、建築物に取り付けますが、取り付け場所および取り付け方の安全性を確認してください。

6. ライトのフォーカシング

最後に、灯具両端下部にある角度調整ネジで、ライトの向きを調整します。ネジは手で締めることもできますが、振動が予想される場所に設置する場合は、六角レンチで固く締めてください。

7. 本体のお手入れ

Color Blazeのレンズは、ポリカーボネート製です。レンズに傷がつかないよう、お手入れの際は、中性洗剤をとかした水につけて固く絞った柔らかい布で、やさしく汚れを拭き取ってください。

注意

- お手入れに、研磨剤などのレンズを傷つける恐れのあるものや、ペーパータオル、ウィンドウクリーナーは使わないでください。ウィンドウクリーナーはポリカーボネート表面の仕上げを損なうことがあります。
- アンモニアやイソプロピルアルコールなどを成分に含むクリーナーは使用しないでください。レンズの黄色化やくもりといったダメージの原因となります。

8. エアークリッターのお手入れ

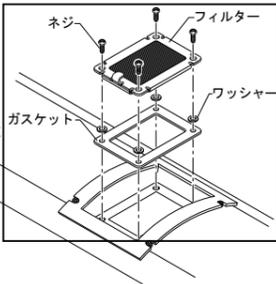
温度上昇を避けるため、Color Blazeにはエアークリッターが備わっています。エアークリッターの機能保持のため、定期的にお手入れをして下さい。手順は以下のとおりです。

1. まず、電源を切ります。

2. 扱いやすいよう、本体を裏返しエアークリッターのある本体背面を上側にします。

3. フィルターの固定ビスを外し、エアークリッターを外します。(このときビスが本体内部に落ちないように注意して下さい。)

4. エアークリッターを水洗いし、完全に乾かしてから、元どおり灯具に装着し直して下さい。



重要

Color Blazeのご使用時には必ずエアークリッターを付けて下さい。

注意

エアークリッター取外しの際は、必ず電源を切して下さい。なお、電源オフ後も内部のキャパシターが帯電していますので、フィルター口から物が入らないよう気をつけて下さい。

9. 温度モニタリング機能

温度の異常な上昇時の製品保護のために、Color Blazeには温度モニタリング機能が備わっています。動作温度が危険なレベルにまで上昇した場合、保護回路が起動してColor Blazeの一部または全てのライトの動作を中止し、暗い赤を点灯します。30分ほど経過し温度が下がると自動復帰しますが、必ず原因をつきとめ再発防止に努めてください。

10. ファンコントロール機能

さらなる熱対策として、Color Blazeにはファンコントロール機能が備わっています。周囲温度が高い場合、ファンが作動し状況に応じて最大速度まで回転します。

しかしながら万一何らかの問題が生じた場合は、直ちに電源を切り使用を中止し、弊社までご連絡下さい。

11. 用語解説

◆ ライトナンバー（アドレス）と DMX チャンネル

本製品はライトナンバー（アドレス）として1～170の設定が可能です。DMXチャンネルではフィリップスのライト1灯につき3chが必要で、170灯で510chを使用することになります。

ライトナンバーとDMXチャンネルの関係は以下の通りです。

ライトナンバー	1	2					169	170				
DMX アドレス	1	2	3	4	5	6	505	506	507	508	509	510
対応色	R	G	B	R	G	B	R	G	B	R	G	B

R : 赤 G : 緑 B : 青

◆ DMX と DMX512

DMXはDigital Multiple X(デジタル多重送信システム)の略。DMX信号(DMX512)はUSITT(米国演劇協会)が規格化した演出分野での標準デジタル信号。照明操作卓から調光を行うための規格で、異なるメーカーの照明コントロール機器の相互接続を可能にしました。

12. 定格・使用環境

・定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
AC100V-240V (50Hz/60Hz)	ColorBlaze 48	ColorBlaze 48
	2.5A-1.1A	280W(最大)
	ColorBlaze 72	ColorBlaze 72
	3.7A-1.6A	420W(最大)

・使用環境

場所	温度	湿度
屋内	-5℃～35℃	0%～95% 結露なし

13. 安全上のご注意

◆ 器具のご使用について

警告

火災のおそれがあります

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 器具を布・紙などでおおったりしないでください。また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないでください。

感電・火災のおそれがあります

- 器具および部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物(金属や燃えやすい物など)を差し込まないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります

- 異常時(煙が出たり、変なにおいがする等)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

注意

- 必ずメンテナンス可能な場所に設置してください。
- 器具を水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- 器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
- 屋内用器具ですが、風呂場等の湿気が多い場所、直射日光の当たる場所では使用できません。また屋外では使用しないでください。故障、事故の原因となります。
- 器具の表面に鋭利なものが当たらないよう、設置環境にご注意ください。
- 器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
- 器具の着脱の際は、両手で静かに扱い、取付は確実に行ってください。落下によるけがの原因

となる場合があります。

- 安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に一度程度)清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。発火・火災の原因となることがあります。
- 当製品の使用可能条件の温度は-20℃～50℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、温度が35℃以上の高温下でご使用になりますと著しく寿命が短くなる原因となります。
- 当製品の保存可能条件の温度は-20℃～70℃、湿度は0%～95%、結露なしですが、範囲外の温度での保存は短寿命または故障の原因となることがあります。

「ストロボ効果」についての注意

- ストロボ効果は一部の影響を受けやすい人に、てんかん発作を誘発する可能性があると言われています。その危険性を軽減するため、いくつかの国際機関がストロボ効果の使用については点滅回数を毎秒4回以下に保つことを勧めています。この点滅回数は直視する閃光全体に適用される目安ですが、複数台のライトでストロボ効果を使用する場合は、同時に点滅が起こるようにして下さい。また、事故を未然に防ぐために、ストロボ効果を使用する旨の注意を事前に呼びかけることをお勧めします。

お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジンなどの揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる場所に、大切に保管してください。ご不明点がありましたら、販売店にご相談ください。

14. 保証について

本製品の保障期間はお買い上げ日より3年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きに従った正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換させていただきます。お買い上げの販売店もしくは(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンまでご連絡ください。(なお、特別に訪問を行った場合や取替サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承ください。

- ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
- 火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
- 接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。
- 年間4000時間以上の長時間使用の場合。

